

## 令和の里海づくりモデル事業

<b>取組</b>	海藻などの海洋資源を利用した里海染め体験、連携体制づくり
<b>概要</b>	<p>海藻等の海洋資源は、古来から染物の糊剤や染料として活用されてきた。福井市は繊維産業を地場産業の一つとするが、アパレル業界ではサステナブルファッションへの注目度も高まっている。</p> <p>そこで、里海と繊維産業を接続させ、環境配慮型の染物の製品化・高付加価値化を図ると同時に、地域内での里海とこれにまつわる地域資源、繊維産業への理解を深め、今後の繊維産業や里海づくりの担い手創出、域外への商品販売や観光振興等の足掛かりとするため、地域内連携体制の構築、里海染め商品の開発、里海染め体験イベントの開発、海藻（クロメ）による藻場造成も見据えた養殖試験を行う。</p>
<b>背景</b>	
<b>地域資源</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アワビやサザエなどの磯根の漁業資源が豊富。</li> <li>周辺海域で漁獲される越前ガこと、これを提供する飲食店・宿泊施設及び関連する観光事業者が存在。</li> <li>四季折々の表情を見せる海と、海に沈む夕日がシンボリックな景観となっている。</li> <li>クロメの生育ポイントが複数みられる。</li> </ul>
<b>地域課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁業従事者が減少し、「地域の海の使い方」を理解している住民が非常に少なくなっている。</li> <li>地域外の間人が漁業資源の豊富な海に立ち入ることに対する地域住民の抵抗感が強く、活動・活用の障壁がある。</li> <li>漁業者が藻場造成の必要性を感じておらず、漁業者との協働にあたり障壁がある。</li> </ul>

## 保全と活用の好循環形成に向けた将来ビジョン

<p><b>【保全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の生育状況の調査に基づき、単年で次世代産出を目指す効率的なクロメ養殖を行い、将来的な藻場造成を目指す。</li> </ul>
<p><b>【活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通常低未利用であり、アワビやサザエの育成に重要な役割を果たすクロメを養殖し、里海染めの染料や佃煮の原料などとして活用する。</li> <li>里海染めを汎用的な体験コンテンツ化し、地域の方や学生主体でオペレーションが可能な状態とすることで、観光客向けの地域の体験プログラムや地域住民への環境教育のコンテンツとして活用する。</li> <li>里海染めの商品を販売もしくは体験キットとして販売することで収益を得て、水産物の新たな価値創造を図り、体験活動等の資金とする。</li> </ul>
<p><b>【好循環形成・促進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>里海染めを体験コンテンツ化することで、観光客や地域住民、地域事業者等に対する地域の里海や地場産業への理解を深め、将来的なクロメ養殖や藻場造成等を含めた里海づくり等の担い手として取り込んでいく。</li> <li>体験コンテンツ化した里海染めをフックに、観光集客を行い、また里海染めの商品販売を行うことで、地域の観光事業者等の収益向上を目指す。</li> </ul>

## 令和の里海づくりモデル事業での取組

取組	海藻などの海洋資源を利用した里海染め体験、連携体制づくり
主な実施内容	<p>【令和5(2023)年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域内連携体制の構築として、越前海岸盛り上げ隊を中心とする地域関係主体との意見交換を実施し、連携の在り方を模索。</li> <li>里海染め商品の開発として、アーティスト集団やアウトドアブランド等と連携した商品開発を検討。事業期間中に、小規模な製品（漁網再生ナイロンのコースター）は商品化の目途が立ち、商品もしくは体験キットとして販売可能な形として道の駅における試験販売を実施（恐竜をモチーフとしており、恐竜をテーマとした道の駅 恐竜渓谷かつやまで試験販売を実施）。</li> <li>染色方法の異なる大判製品は染料の濃度の問題で製品化に苦戦し、事業期間内での試験販売には至らないが、事業期間後の商品化に向けて継続的に取り組む予定。</li> <li>里海染め体験イベントの開発として、複数回子ども向けイベントや小学校での授業等を実施し、フィードバックを得て内容を改良。</li> <li>海藻（クロメ）による藻場造成も見据えた養殖試験として、クロメの苗を製作し、養殖試験を実施。事業期間中に収穫には至らないが、予定通り進捗。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>里海染めの特性を生かした商品開発を進めたほか、商品開発や体験の提供について、今後の新たな連携先についても見通しを立てることができた。</li> <li>里海染めの体験プログラムについて、イベント参加者からニーズ把握を行い、プログラムの改善を行った。</li> <li>養殖試験について順調に進捗し、将来的な藻場造成に向けた方向性について検討した。</li> </ul>
今後の課題・展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>里海染めについて、他の里海にまつわる染料の検証やオペレーションに関わる人材の育成を行い、地域の体験コンテンツとしてさらなる活用を図る。</li> <li>クロメ養殖や、藻場造成に関わる地域やキーパーソンを増やし、地域の里海環境の保全を行っていく必要がある。</li> </ul>



養殖試験の様子

養殖施設設置時の様子（葉長5mm）（左）

事業終了時の様子（葉長10cmになっていることを確認）（右）



### 里海染

ダークオステウス  
アンモナイト  
モササウルス

福井県に古来から自生している海藻クロメから抽出した染液のみで、漁網再生ナイロンに1枚ずつ手染めしています。

サカイオーベックス 株式会社

開発した里海染め商品／体験キット（コースター）